

登録コード:MH426300 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目	必修
科目名	日常生活支援論演習【20M以降】 Occupational Therapy practice: ADL			
担当教員	上村 智子			
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	作業療法学専攻/3年		前期	金曜・2時限
単位数、講義室	1単位	保健学科診断訓練実習室		遠隔授業科目
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標	
	MH20カリ・保健			
	保健・医療の専門職者として必要な感性を磨き、基本的知識・技術を獲得して、さまざまな状況で活用できる。		高齢者や障害者の日常生活支援において重要な要素である「移動」「姿勢保持」「上肢機能」を補助するための物理原則を理解する。さらに、生活支援の視点から、住環境整備を計画するための基礎的知識についても修得する。	
	MH25カリ・保健・作業、MH23カリ・保健・作業			
	基礎的・専門的な知識と技能 保健・医療専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		齢者や障害者の日常生活支援において重要な要素である「移動」「姿勢保持」「上肢機能」を補助するための物理原則を理解する。さらに、生活支援の視点から、住環境整備を計画するための基礎的知識についても修得する。	
	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		多様な健康障害のある人に対して、作業療法士の視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に対応していく探究心と、対象者の課題に応じた安全で効果的な治療実践に向けて、生涯をかけて取り組む力が身についている。	
授業で学べる「テーマ」	健康長寿			
全学横断特別教育プログラム				
授業概要	本授業では、福祉用具や住環境整備といった物理的環境への介入を伴う動作指導を行って、その人にとって意味のある作業を支援する手続きと思考プロセスと基礎的技術を学習します。 本授業は、2年次の「日常生活支援論」を前提に学ぶことになります。そして、3年次の「身体障害作業治療学1・2」の内容と相補的に学ぶことで、4年次の臨床実習における重要な基礎知識となります。 本授業は、担当教員の保健・医療福祉サービス提供機関における作業療法士としての実務経験を活かして講義を行います。本授業は男女共同参画の内容を含んでいます。			
授業計画	第1回（4月10日） オリエンテーション＆生活支援の実際 第2回（4月17日） 移動と姿勢保持の工学的支援の基礎（車いす）1 第3回（4月24日） " 2 第4回（5月8日） " 3 第5回（5月15日） 上肢機能の工学的支援の基礎 第6回（5月22日） 移動や食事などを支援する用具の調整や作製の演習1 第7回（5月29日） " 2 第8回（6月5日） " 3 第9回（6月12日） " 4 第10回（6月19日） " 5 第11回（6月26日） " 6 第12回（7月3日） " 7 第13回（7月10日） 住まいの整備 第14回（7月17日） 移動の支援（演習）1 第15回（7月24日） " 2 & まとめ 授業アンケートの実施			
授業の進め方	授業は配布資料に基づいて進めていきますが、能動学習による理解の深化を目指すため、質疑応答にも重きを置いて展開します。また前半の演習では、車いすやPotable Spring Balancer（PSB）などの調整、移乗用具の使用、食事用自助具の作成をしていただきます。また後半の演習では、障害者の移動支援のなかから課題を選択し、調べ、その成果を口頭・実演で報告していただきます。			
テキスト、教材、参考書	資料を配布します。 参考書は講義の際に紹介します。			
成績評価の方法	演習課題の成果に基づいて、総括的に成績を評価します。総括評価の配分は、車いすなどの調整や自助具作成などが50％、障害者の移動支援に関する報告が50％とし、総計60％以上を合格とします。また、車いすの調整などについては授業理解60％、グループへの貢献10％、自修学習30％で評価します。障害者の移動支援の報告については授業理解50％、自修学習20％、口頭・実演報告20％、資料作成10％で評価します。課題の成果は、各々の演習の最終日に評価します。			
成績評価の基準	演習課題の成果による成績評価の判定基準は、下記の通りとします。 90 - 100点：秀、80-89点：優、70 - 79点：良、60-69点：可 なお、演習課題の評価基準は、授業で例題を示した範囲における、最低限の基準にあれば			

成績評価の基準	「水準にある（可）」，やや詳細な内容であれば「やや上にある（良）」，十分に詳細な内容であれば「かなり上にある（優）」，授業で説明した範囲以上に自身で能動的に学習した詳細な内容であれば「卓越している（秀）」と判定します。
事前事後学習の内容	【事前学習について】 授業の終わりに，次回までに学習すべき内容について説明を行います。 【事後学習について】 授業の初めに，前回の授業で復習した内容や能動学習として学習した内容についての質問を受けます。演習課題はグループ単位で行いますが，発表に至る過程で，積極的に質問してください。 本授業の単位取得には45時間の学習が必要であるため，以下のような学習時間を必要とします。 授業時間30時間（2時間×15回）＋事前・事後の自己学習時間15時間（1時間×15回）＝45時間 以上の自己学習時間を考慮して，事前・事後学習に意欲的に取り組んでください。
学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	本科目は、作業療法の生活支援の知識と技術を融合させるための科目です。既習の知識を基盤に学生自らが考えて演習して，知識を統合してってください。 質問への対応：上村智子 tkamimu@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー：木曜日12時～13時 保健学科中校舎4階 上村研究室